



当時の最先端、ピンクと  
ゴールドの彩りに挑戦  
なんきおとこやまやき  
南紀男山焼  
きんさいむしかごこうごう  
金彩虫籠香合 (当館蔵)

令和6年7月12日(金) 14:00	
資料提供	
担当課(室)	県立博物館
担当班・係	学芸課
担当者	学芸員 原田直輝
電話	073-436-8684(学芸課)

## 和歌山県立博物館でスポット展示

### 「きのくに色絵の世界—中国陶磁にあこがれて—」開催

県立博物館では、所蔵資料をより多くの方々に知っていただくために、2階にスポット展示のコーナーを設けています。

19世紀の和歌山では、多くの窯が開かれ、様々なやきものが作られました。その中には、中国・清のやきものを意識した装飾を、色絵でほどこした作品があります。色絵とは、赤・青・黄・桃色などの絵具でやきものを彩る華やかな装飾のことです。和歌山には、全国でも早い段階で、清のやきものを意識した色絵の技術が伝えられました。このことは、江戸時代の和歌山の文化力の高さをうかがわせるとともに、日本国内でのやきもの技術の伝わり方を考える上で重要な点として、近年注目されています。

この度のスポット展示では、清のやきものを意識した、和歌山ゆかりの色絵のやきものをご紹介します。当時の最先端を走っていた和歌山のやきもの文化に思いを馳せていただく機会となれば幸いです。

【主催】和歌山県立博物館

【展示資料】なんきおとこやまやき かいらくえんがせい いろえおうかづめいざら 2枚(10枚のうち)  
なんきおとこやまやき きんさいむしかごこうごう 1合  
さんらくえんやき きんさいむしかごこうごう 1口

(展示資料はいずれも和歌山県立博物館蔵)

【会期】令和6年7月13日(土)～令和6年8月10日(土)

【会場】和歌山県立博物館 2階 学習室スポット展示コーナー

【開館時間】9時30分～17時(入館は16時30分まで)

【休館日】月曜日(ただし、7月15日(月・祝)は開館、翌16日(火)は休館)

【料金】無料(ただし、常設展示室・企画展示室へ入室される場合は入館料が必要)

【担当者】学芸員 原田直輝

〒640-8137 和歌山市吹上一丁目4-14

Tel:073-436-8684 Mail:admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp

(※資料カラー画像を提供できます。上記メールアドレスに、その旨ご連絡ください。)